

第1回名寄市保健医療福祉推進協議会 障害者部会（顛末）

日 時： 平成29年5月16日（火）

17時45分～19時00分

場 所： 名寄市役所4階 第1委員会室

【出席者】 8名

姉崎部会長、尾谷副部会長、秋山委員、市川委員、山中委員、池田委員、
山田委員、福士委員、瀬戸口委員、佐々木委員

【欠席者】 2名

【事務局】 田邊健康福祉部長、鈴木社会福祉課長、柴野社会福祉課主幹、
山崎障がい福祉係長、宮川障がい福祉係主任、谷口こども発達支援センター所長、
久光学校教育係長

1 開会【社会福祉課長】

2 部会長、副部会長の選任

委員から事務局一任の意見を受け、事務局から部会長、副部会長を委員から提案し、全委員の了承を得て部会長と副部会長を決定。

3 部会長、副部会長の就任挨拶

部会長、副部会長から挨拶。

4 報告事項【議長：部会長】

報告第1号 第2次障がい者福祉計画及び第4期障がい福祉実施計画の進捗状況について

事務局から、現行の2つの計画の進捗状況について説明（議案書P1～P15）。【障がい福祉係長】

【委員A】

第4期障がい福祉実施計画の就労についてですが、障害者雇用率の向上を目指す本州の企業（特例子会社）を、市として誘致する考えはあるのでしょうか。

【事務局：社会福祉課主幹】

企業の誘致ではありませんが、東京の特例子会社が実施している「テレワーク」についての説明会を、今月末に本市で開催する予定はあります。

5 協議事項

協議第1号 第3次障がい者福祉計画及び第5期障がい福祉実施計画の基本的事項の説明について

事務局から、策定する2つの計画の基本的事項について説明（議案書 P17 から P18）。【障がい福祉係長】

【委員】

意見・質問なく、承認されました。

協議第2号 障がい者の実態調査について

事務局から、障がい者の実態調査について説明（議案書 P19 から P32）。【障がい福祉係長】

【委員 B】

問1のアンケート記入者の選択肢に「家族以外の介助者」とあるが、どのような人を想定しているのですか。

【事務局：障がい福祉係長】

施設入所をしている方の場合の「施設職員」などを想定しています。

【委員 B】

これ以外の問についても、質問の内容が障がい者にもわかりやすいように説明をつけたり、記入しやすいようにしてはどうでしょうか。

【委員 C】

準備が大変かと思いますが、例えば、視覚障がい者の方のために、点字などの方法もあると思います。

【委員 D】

障がいによっては、記入できない方や返送できない方もいるかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

アンケート用紙は、ルビ付きにすることを予定しており、できるだけわかりやすい言葉や説明にしていきたいと考えています。

【委員 B】

前回のアンケート調査の回収率は、どれくらいだったのでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

前回のアンケート調査の回収率は、約 50 パーセントでした。

【委員 A】

「提供する情報」の保障と、「回答率」の保障と分けて、協議をした方がよいと思います。
障がいの種別によって、回答率に乖離が出るのが考えられますので、回答率の保障も重要だと考えます。

【委員 B】

調査票は、今回の計画に限らず、他の事業等にも活用ができるものと思われるので、回答者がわかりやすいようにするとよいと思います。

【委員 E】

回答者が迷わないように、調査票の中に「例示」をするなどして、できるだけ正しく回答できるように工夫をしてはどうでしょうか。

【事務局：社会福祉課長】

障がいの種別や程度に応じて回答率も違うと思われるが、調査票の回答につきましては、クロス集計を行うことで傾向もつかめると考えておりますので、基本は、提示させていただいたこの調査票で進めさせていただきたいと考えております。

【委員 E】

調査票には、不明な点があった場合の「問合せの連絡先」も明記されるのでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

問合せ先については、当係の連絡先を掲載する予定です。

【委員 B】

前回のアンケート調査の回収率 50%は低いと思いますので、回収率が高くなるよう進めてもらいたいと思います。

【健康福祉部長】

障がい福祉事業所や福祉団体にも聞き取りをすることを考えており、アンケート調査の周知を図りながら、回収率が高くなるように進めてまいります。

【委員 E】

調査票は、郵送で送るのでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

郵送で送ります。

【委員 E】

市民向けの調査票の対象者 300 人は、無作為抽出でしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

20 歳以上の市民 300 人を無作為抽出します。

【委員 D】

市民向け調査票の問 15 についてですが、質問の意図は「共生社会」なのでしょうか。それとも「協働参画」なのでしょうか。重要な質問だと思われるので、協働参画であれば、参画する姿勢があるか・ないかを聞き取ることができる質問としてはどうでしょうか。

【委員 A】

市民が「自分にできることが何なのか」を考えることができるような質問にするとよいと思います。

【事務局：障がい福祉係長】

それでは、新たに問を設け、参画の意向を問う質問を加えることといたします。

【委員 F】

当事者向けのアンケート調査票の問 16「障がい福祉サービス」については、わかりやすくなるように、具体的な福祉サービス名を、例として書いてみてはどうでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

前回のアンケート調査時に、障がい福祉サービスのすべての種類について質問をしたという経過があります。福祉サービス名だけでは、サービスの内容が理解できていなかった様子もあったため、今回は、意図的に具体的なサービス名を書かないようにしてみました。

【委員 B】

すべてのサービス名を書く必要はありませんので、例として、2～3つくらい書いてみてはどうでしょうか。

【事務局：障がい福祉係長】

わかりました。

協議第3号 第3次障がい者福祉計画及び第5期障がい福祉実施計画策定スケジュールについて

事務局から、計画の策定スケジュールについて説明(議案書 P34)。【山崎障がい福祉係長】

【委員】

意見・質問なく、承認されました。

6 その他

事務局の自己紹介と、障害者部会の委員の自己紹介を行いました。

7 閉 会 【部会長】